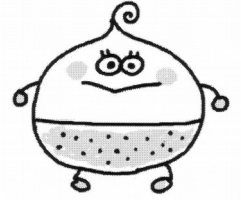


# ごみゼロネット推進会（第10回）議事録



開催日： 2009年（H21年）6月1日（月）10:00～12:00

場所： ウエスト（新小金井駅前）

出席者： 平林、加藤、市原、杉本、大橋、加賀谷、伊藤、桐生（作成）

議題：

## 1. 「平成21年度東京都地球温暖化対策等推進のための区市町村補助金」申請についての討議

平林：都が標記の補助金の募集をしているが、小金井市が見送ることが判明した。この補助金は「提案プロジェクト」と「選択メニュー事業」の2種類よりなり、前者は全額、後者は半額の補助金が出る。我々がこれまで進めてきた「生ごみ」は「低圧高速発酵処理」で減容し「その他ごみ」と合わせて「炭素化処理」する処理システムを「提案プロジェクト」として小金井市から提出して貰い、実証試験がやれば大きな前進になる。

CO<sub>2</sub>の削減がメインテーマなので、この申請書もその主旨に沿って作成した。

加藤：①国分寺市との共同処理を度外視した案は市長に受け入れられない、②数値の根拠を求められるので出典を明確にせよ、③東京農工大学、EEN社、テクノプラント社と予め摺り合わせしておくこと。必ず都から相手先に問い合わせが行く、④「亜臨界水処理」も入れることができないか。

大橋：炭素化は未知の課題が多いから実証試験すると言うが、実際には多くの自治体で導入されている。（福岡県

八女郡八女西部リサイクルセンターの紹介記事を配布）2000年から導入しており、生ごみを炭化して焼却している。今回の申請書は炭素化の手掛かりを得るためにやる上手い遣り方と思う。

平林：都はこのような提案を歓迎すると聞いている。稲葉市長が反対すると判っても、とにかく出すだけ出した。鉄鋼メーカーとも共同研究を進めたい。

加藤：愛知県田原市は既に炭素化残渣を製鉄所が引き取っており、そのような方式は目新しいものではない。テクノプラントはそのような使い方は勿体ないと考えている。我々がやる場合は有償で引き取ると言っている田川、川崎一部事務組合もEENを導入したいと6/15に提案することになっている。

平林：小金井市の議員たちも長期的には燃やさないでやろうという人たちが多くなっている。この炭素化の実証試験は都が全額補助してくれる絶好の機会である。（光と風の研究所の）堀内さんもこのような提案は都に歓迎されると言ってくれている。神鋼やJFEも炭素の専門家なので情報交換を急ぎたい。

加藤：テクノプラントは富士市のごみでやったが、議会の中であんな相手にやらして良いのかと反対があって止めて、筑波に来たと言っている。その経緯を詳しく聞いてみたい。テクノプラントは廃棄物処理業者の資格を持っている。後は越境移動の規制をどうするかなどの具体的な詰めが要る。

杉本：加藤さんの話で、実証試験と実行を切り分けて話してほしい。ごみ運搬の件と先方での処理の件。

市原：この会と市民ネットの位置づけをどう考えたらよいか。市民ネットからごみ問題の情報発信サイトを作りたいと言うことでスタートしたはず。来週月曜日に市民ネットの会議がある。

加藤：申請書が出せる可能性は厳しい。市の基本計画に沿ってごみの減量をするために、その巾を広げようとしたのが市民ネットであった。その事務局がごみ対策課なので、ここがOKを出すとは考えにくい。

大橋：ごみゼロネットと市民会議は分けて考えたい。

平林：本件の提案者はシニアSOHOであるとしてやってはどうか。また、市民に提供する堆肥に影響するかどうか、炭素化処理に持って行く量を具体的に示して影響を見極めたい。

## 2. 「補助金交付申請書」を構成する資料の説明（桐生）

- (1) 「平成21年度東京都地球温暖化対策等推進のための区市町村補助金交付申請書」
- (2) 「実証試験基本計画書」
- (3) 「新ごみ処理施設の概念設計」
- (4) 「焼却炉方式から新ごみ処理方式へ」

上

以

次回打合せ 日時：6月4日（月）19:00～21:00 / 場所：本町公民館

議題：提案書の取り扱いに関する討議

1 / 1